

II. 「ごみゼロ社会実現プラン」 における目標指標達成状況

II. 「ごみゼロ社会実現プラン」における目標指標達成状況

1. 目標指標

「ごみゼロ社会実現プラン」(平成17年3月)では、プランの趣旨を踏まえ「ごみの減量化」、「多様な主体の参画・協働」、「ごみ処理に伴う環境負荷の抑制」の3つの観点から数値目標を設定している。その中でも「多様な主体の参画・協働」については、ごみ減量化やごみ問題に関する県民の意識、行動の変化を表す目標として県民アンケート調査の結果から目標を設定している。

指標名	現状値 (前回調査)	目標値
ものを大切に長く使おうとする県民の率	58.2%	100%
環境に配慮した消費行動をとる県民の率	39.4%	100%
食べ物を粗末にしないよう心がけている県民の率	38.5%	100%
ごみゼロ社会実現プランの認知率	—	100%

2. 今回調査結果からみた目標指標現況値の算出

今回調査結果からみた目標指標は以下のとおり算出される。

環境関連行動に関する質問項目			よく当てはまる ①	少し 当てはまる ②	①+②	あまり当て はまらない ③	まったく当て はまらない ④	③+④
(A)	問2 (1)	特価品や新製品を見ると、すぐには必要なくてもつい買ってしまふ	6.5%	30.7%	37.2%	36.7%	24.1%	60.8%
(B)	問2 (2)	買って何年もしない家電製品であっても、壊れたら修理するより買い替える	11.7%	30.1%	41.8%	35.1%	20.7%	55.8%
(C)	問2 (3)	お店では、環境やごみのことは考えずに商品を選ぶ	17.7%	43.5%	61.2%	29.6%	7.1%	36.7%
(D)	問2 (4)	一時期しか使わない商品であってもレンタル品などは使わず新品を購入する	20.9%	32.8%	53.7%	28.3%	15.4%	43.7%
(E)	問3 (1)	使い切れなかつたり賞味期限が切れたために食材を捨ててしまうことはありますか？	16.9%	50.1%	67.0%	17.7%	13.6%	31.3%
(F)	問3 (2)	食べきれず、料理を捨ててしまうことはありますか？	10.0%	38.3%	48.3%	25.2%	24.6%	49.8%



数値目標の指標	目標とする数値の根拠	現状値
ものを大切に長く使おうとする県民の率	(A) + (B) の「③+④」の加重平均	58.3%
環境に配慮した消費行動をとる県民の率	(C) + (D) の「③+④」の加重平均	40.2%
食べ物を粗末にしないよう心がけている県民の率	(E) + (F) の「③+④」の加重平均	40.6%
ごみゼロ社会実現プランの認知率	問27「知っている」および「名前は聞いたことがある」の率	45.6%

3. 目標指標の達成状況

目標指標について、いずれの指標についても現状値が前回値を上回っており、少しずつではあるもののごみ減量化やごみ問題に関する県民の意識は高まっているものと思われる。「ごみゼロ社会実現プランの認知率」については半数を下回っている。

目標指標	現状値	前回値との比較
ものを大切に長く使おうとする県民の率	58.3%	+0.1%
環境に配慮した消費行動をとる県民の率	40.2%	+0.8%
食べ物を粗末にしないよう心がけている県民の率	40.6%	+2.1%
ごみゼロ社会実現プランの認知率	45.6%	—